

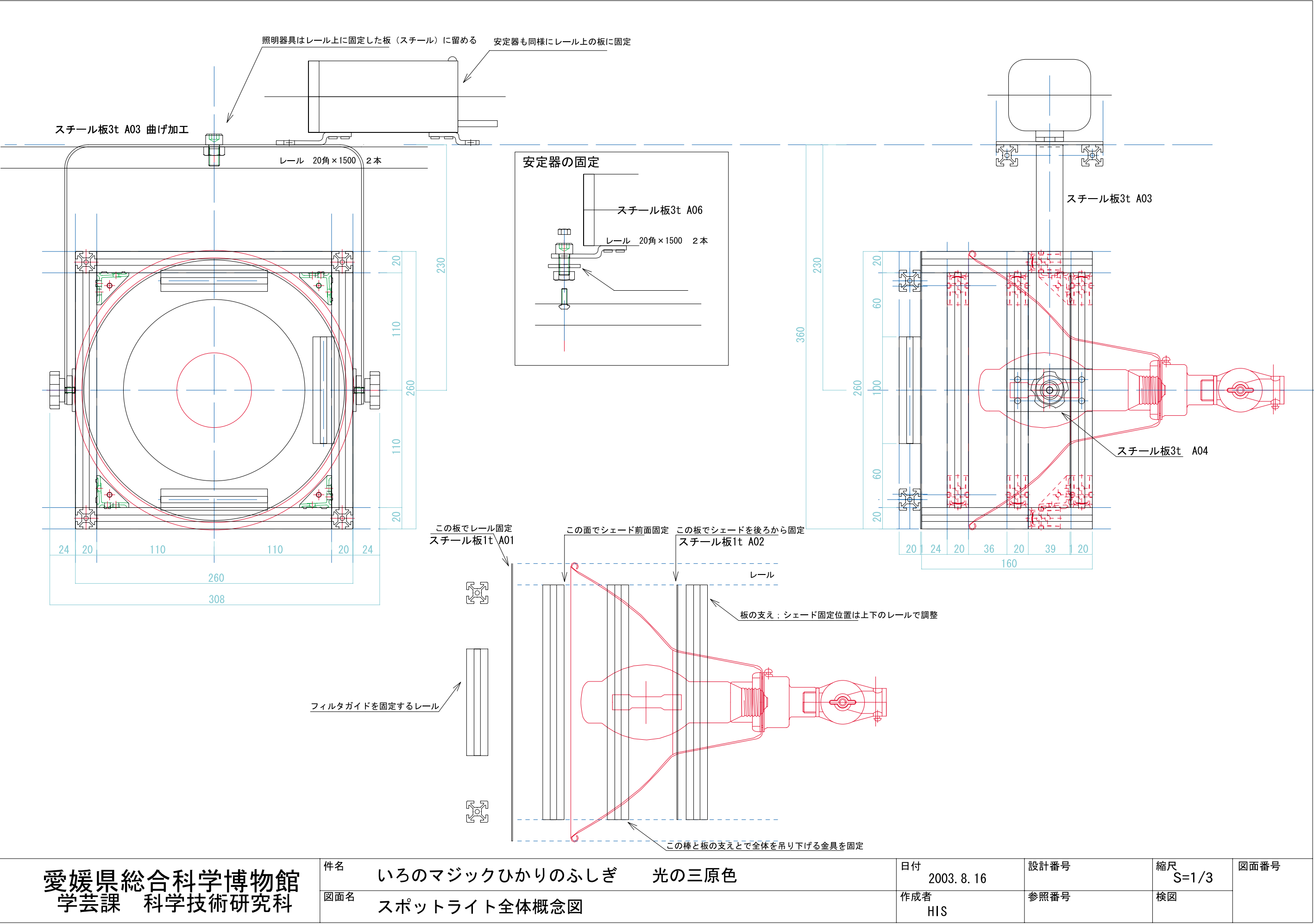
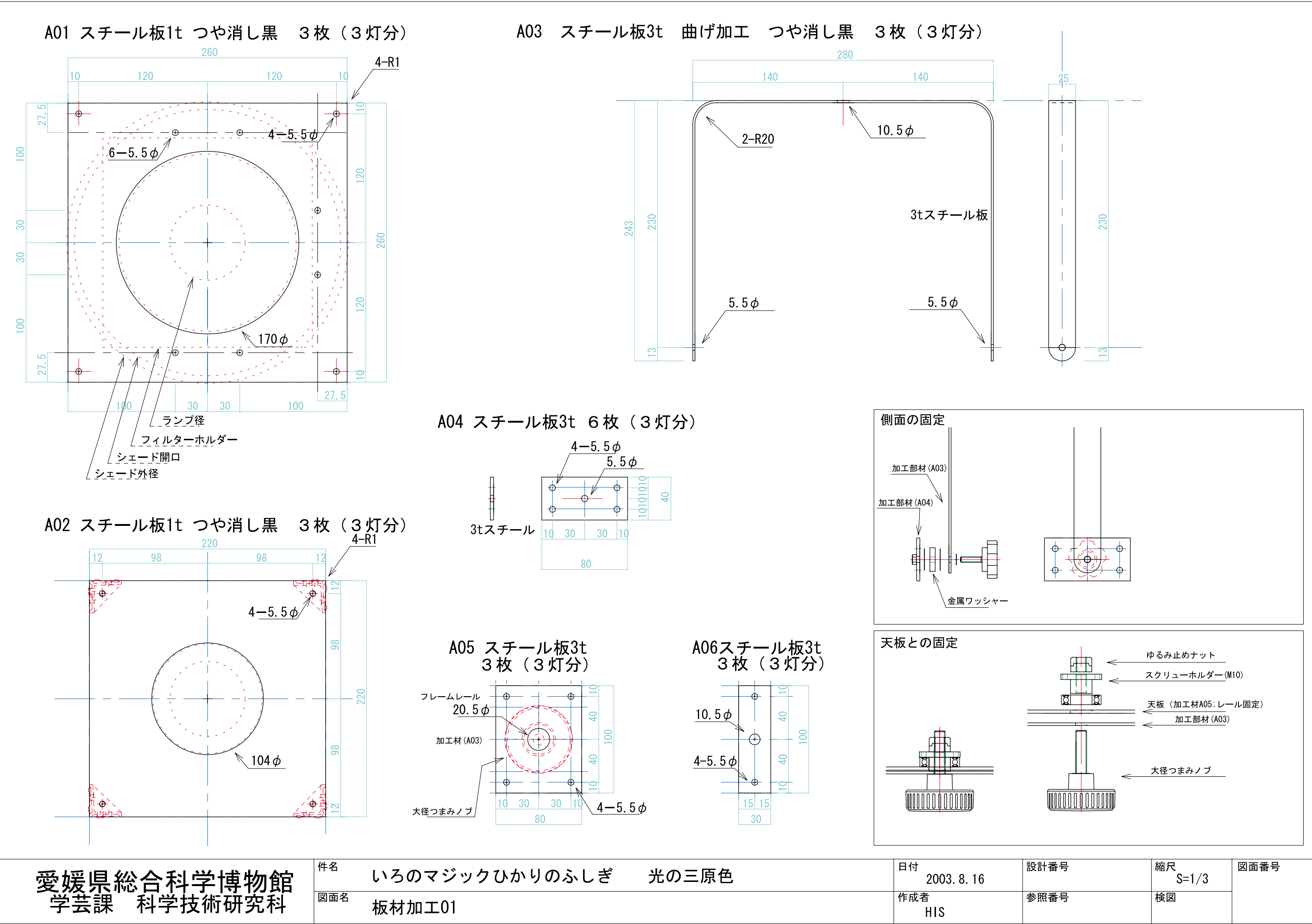


図2 水銀ランプボックス。

ミスミ製の20ミリ角アルミフレームで外形を製作した。フレームに穴の空いた鉄板を取付け、ランプシェードを挟み込むように固定した。フィルタケースは通常の照明用のもの。フィルタケースの厚さが、アルミフレームの溝に合うために、アルミフレームをフィルタケース固定用のレールとしても使

用している。アルミフレームで製作された箱を、鉄板で挟み込み、吊り上げる構造とした。全体は同様にアルミフレームで組んだレールに取り付けられた。図面上は安定器も取り付けける仕様であるが、安全措置のため、別途安定器台を製作して足下に設置した。



愛媛県総合科学博物館
学芸課 科学技術研究科

件名 いろのマジックひかりのふしぎ 光の三原色
図面名 板材加工01

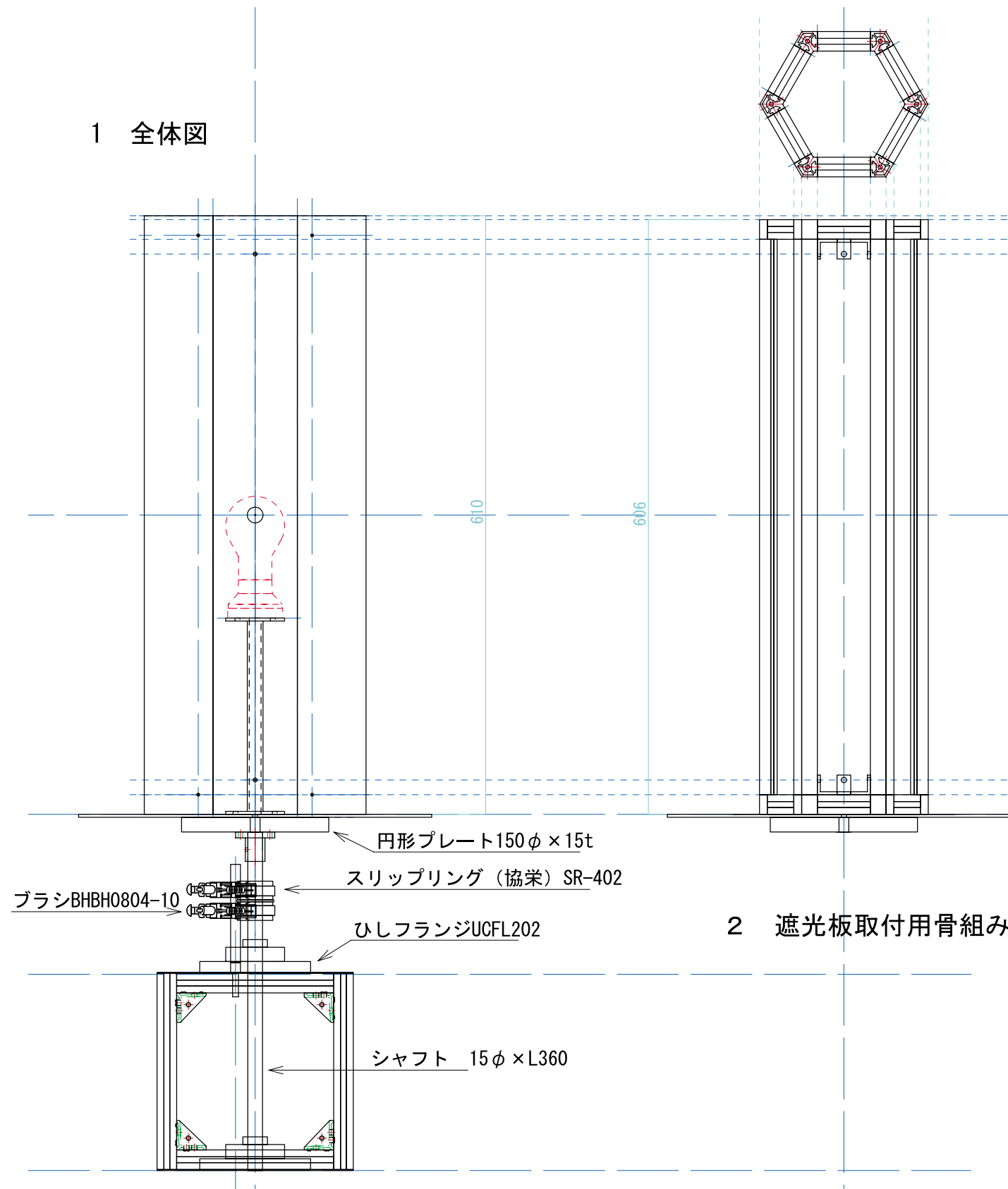
日付 2003. 8. 16	設計番号	縮尺 S=1/3	図面番号
作成者 HIS	参照番号	検図	

図3 水銀ライトボックス用の板材加工図.

A01はランプシェードの一部を遮光し、カラーフィルタに光束を合わせるための板。A02はランプシェードを固定する板。A03はライトボックス全体を吊り下げるコの字型の釣り具。A04は A03をライトボックスに取り付ける板。A05は A03をアルミフレームに吊り下げるための取付具。A06は今回使用し

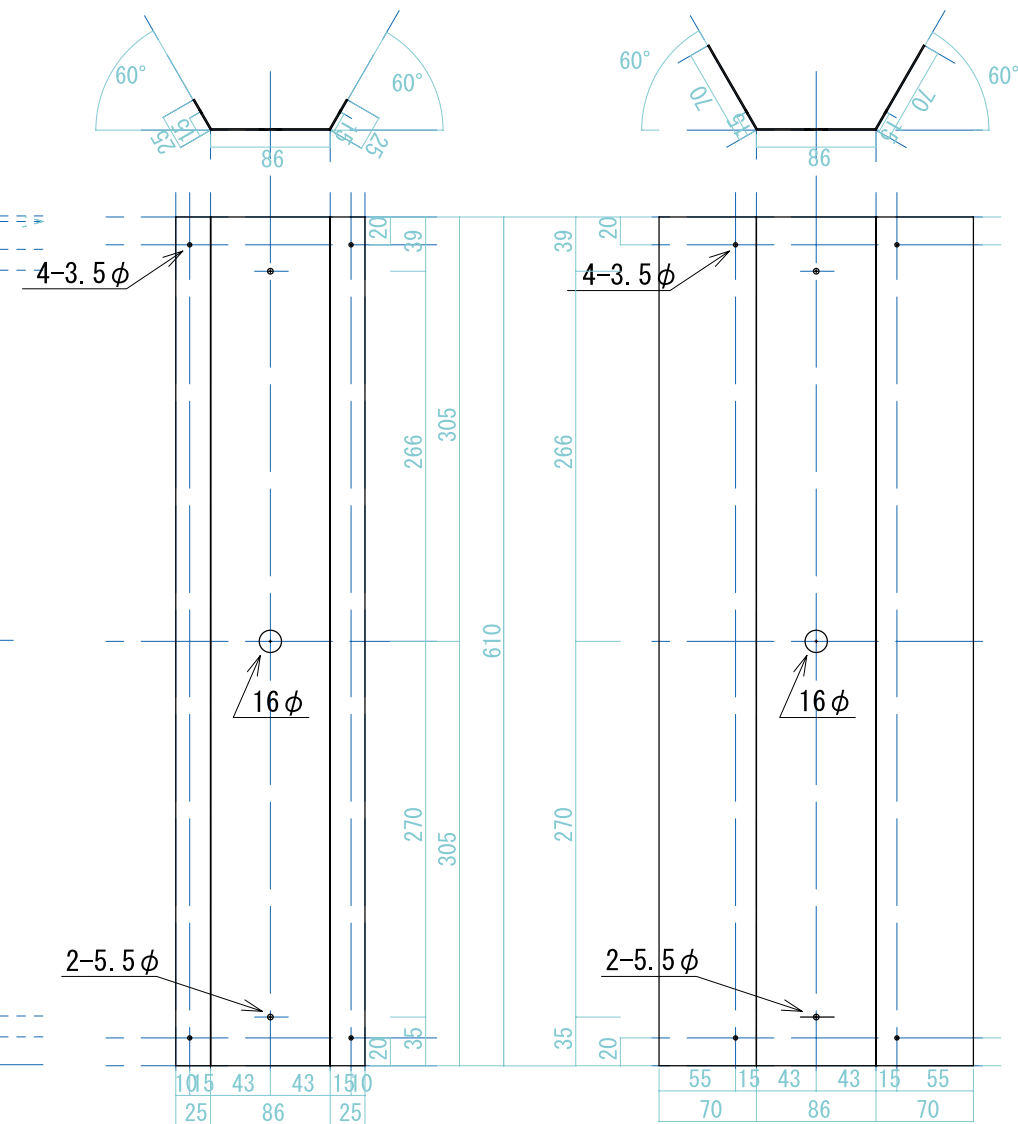
なかった、安定器のための取付具である。

1 全体図



2 遮光板取付用骨組み

3 遮光板 発泡塩ビ板 黒 0.5t



愛媛県総合科学博物館
学芸課 科学技術研究科

件名 いろのマジックひかりのふしぎ
図面名 分光器 全体図及び上部遮光板

日付 2003. 8. 16
作成者 HIS

設計番号
参照番号

縮尺 S=1/5
検図

図面番号

図4 分光器全体図及び上部遮光板。

六角形に組まれた遮光板が回転円板に乗っている。電源供給はシャフトに取り付けられたスリップリングによる。遮光板は六角形柱の骨組みに開いたコの字型をしており、骨組みの各面に取り付けた。蛍光灯はその上に固定し、白熱電球は回転円板に取り付けた。回転円板下の厚さ15tのアルミプレート

で上部の機材を支える構造になっている。六角形柱の骨組みと下部の箱はミスマ製のアルミフレームを使用した。

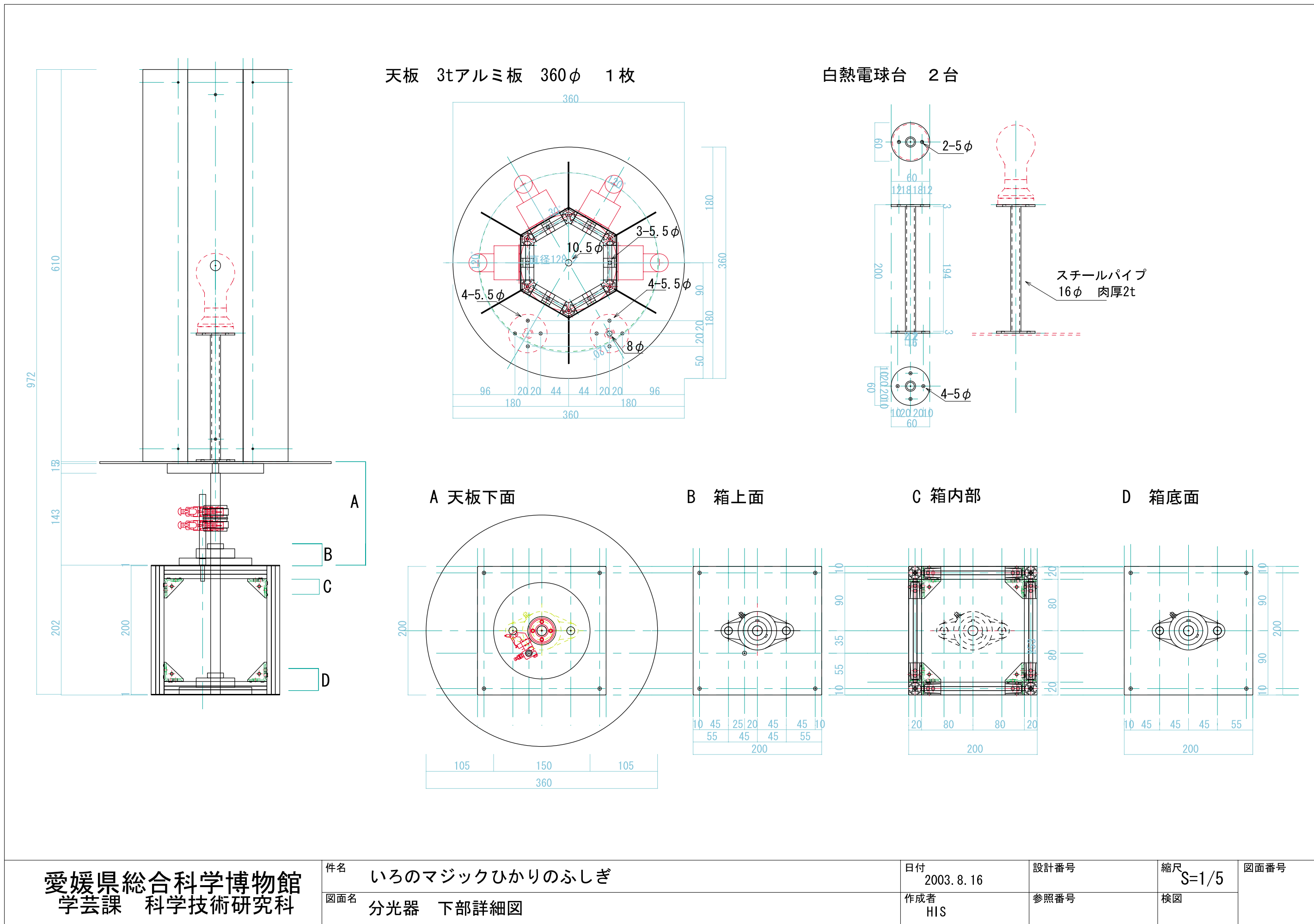


図5 分光器下部詳細図.

白熱電球台は天板に取り付けた。下部の箱には、シャフト用のベアリング設置用である。箱と天板の間にスリップリングを取り付けた。ブラシは、箱の天板から伸びている短いシャフトに取り付けた。電源コードは白熱電球台の内部から天板裏にとおし、スリップリングに接続、ブラシから電源へと接続される。

